

「セコムグループ ロードマップ2022」の振り返り

「セコムグループ2030年ビジョン」の実現に向けて、2019年3月期から2023年3月期の5カ年は、「セコムグループ ロードマップ2022」に沿った取り組みを進めてきました。テクノロジーの進化と労働力人口の減少への対応を優先課題と位置づけ、人とシステムへの集中投資をはじめ中長期目線で適切なリターンが期待できる必要な投資を実行するとともに、各課題から高まるニーズを先取りし事業機会につなげました。この5年間で実績は着実に積み上がり、今後の成長基盤が整ってきました。主な取り組みは次の通りです。

まず、事業所向けにシステムセキュリティ「AZ」シリーズを提供開始しました。「AZ」シリーズは防犯・火災監視だけでなく、様々な機能をオールインワンで提供できるプラットフォームのようなシステムです。併せて、事業所向けセキュリティと親和性の高いHRテックサービス(勤怠管理等)の強化と連携機能の拡充を図りました。一方、ホームセキュリティのご契約先向けに、クラウドを活用しアプリを連携させた「安否みまもりサービス」の提供を開始したほか、「Apple Watch」と「iPhone」向けのアプリを配信し利便性を向上するなど、他社デバイスとの連携も強化しました。

海外事業においては、2019年にトルコに進出したほか、タイではASEANイノベーションセンターを開設し市場ニーズに合ったシステムを投入するとともに、広告宣伝を開始するなど、現地に根づいたビジネスを本格的にスタートさせました。

セコムが重視している人への投資では、ベースアップをはじめとする従業員還元強化を図ったほか、働きやすい職場環境づくりを推進するなど、従業員エンゲージメントの向上に努めました。

さらに、事業ポートフォリオの最適化を推進しました。上場子会社だったセコム上信越を2021年11月に完全子会社化したことに加えて、セキュリティサービス事業の拡大に向けて2022年7月にセノンがセコムグループに加わりました。

国内セキュリティや見守り、海外セキュリティ、BPO・ICTを中心とする新たなサービスの提供や社内施策の実施により、成長基盤の構築が大きく進展した5カ年となりました。

持続的成長に向けて「セコムグループ ロードマップ2027」を策定

2023年5月、セコムは今後5年間にめざすべき方向性をステークホルダーの皆様と共有すべく「セコムグループ ロードマップ2027」を策定しました。近年における社会の変化は著しく、テクノロジーがめざましく進化する一方で、国内では労働力人口減少や高齢化、体感治安の悪化が見られており、自然災害の頻発化・激甚化、世界的なインフレの進行など、多くの社会課題が深刻化しています。

セコムは、こうした課題から生じる様々なニーズを的確にとらえ、多種多様なパートナーとのオープンイノベーションを今後も推進しながら、新たなサービスとして提供していくことで、あらゆる場面でも確かな「安全・安心」を提供すると同時に社会課題の解決にも貢献し、社会とともに持続的成長をめざしたいと考えています。

「セコムグループ ロードマップ2027」における具体的な取り組み

新たなロードマップでは、セコムが培ってきた高度な技術と豊富なノウハウを生かしてあらゆる場面での「安全・安心」の提供をめざし、5つの重点施策に取り組んでいきます。

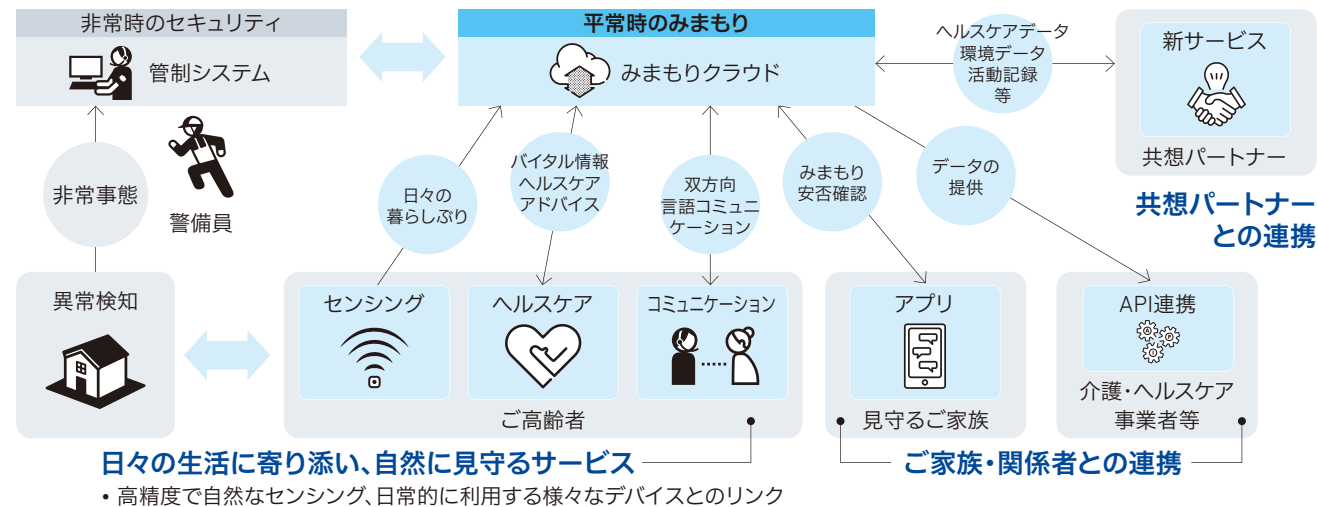
Road Map 2027 — 高度な技術と豊富なノウハウを活かし、あらゆる場面での安全・安心を提供 —

重点施策	今後の取り組み
見守り・セキュリティ	セキュリティを中心とする新たなサービス・ソリューションの提供 <ul style="list-style-type: none"> みまもりクラウドを活用し、様々な情報を連携することで、切れ目のないみまもりを実現 堅牢なセキュリティとオープンなクラウドを融合させたビジネスインフラへの進化
海外	市場拡大が見込まれる海外市場で更なる成長を実現 <ul style="list-style-type: none"> セキュリティ・メディカル分野における既存ビジネスの深耕 未進出地域・新規分野における新たな事業ポートフォリオの拡大を推進
BPO・ICT	お客様の事業運営を支えるインフラ基盤を提供 <ul style="list-style-type: none"> サービス提供基盤としてのデータセンターやネットワークの拡充 円滑な事業運営を支える各種ソリューションの拡充、BPOサービスの提供
生産性向上	サービス価値の最大化と業務効率化を通じて生産性向上を推進 <ul style="list-style-type: none"> これら重点施策の実行により、新たなサービスを次々と提供し、サービス価値を最大化 最新の技術を活用しながら、社員一人ひとりのポテンシャルを引き出し、業務効率を向上
ステークホルダー	ステークホルダーから選ばれ続ける会社づくりを推進 <ul style="list-style-type: none"> 従業員エンゲージメント向上等の環境整備を通じ、人財の確保・育成を継続的に推進 全てのステークホルダーから信頼される存在になるためのサステナビリティ活動の推進

1 見守り・セキュリティの進化

みまもりサービスのさらなる進化

AIや5G、クラウドといった技術を活用し、セキュリティを中心とする新たなサービス・ソリューションを提供します。
 家庭向けでは、ホームセキュリティとみまもりクラウドを連携させることで、ご利用者を切れ目なく見守り、家族や介護事業者などに向けた様々なサービス展開を進め、日常生活のあらゆる場面で「安心」を提供していきます。

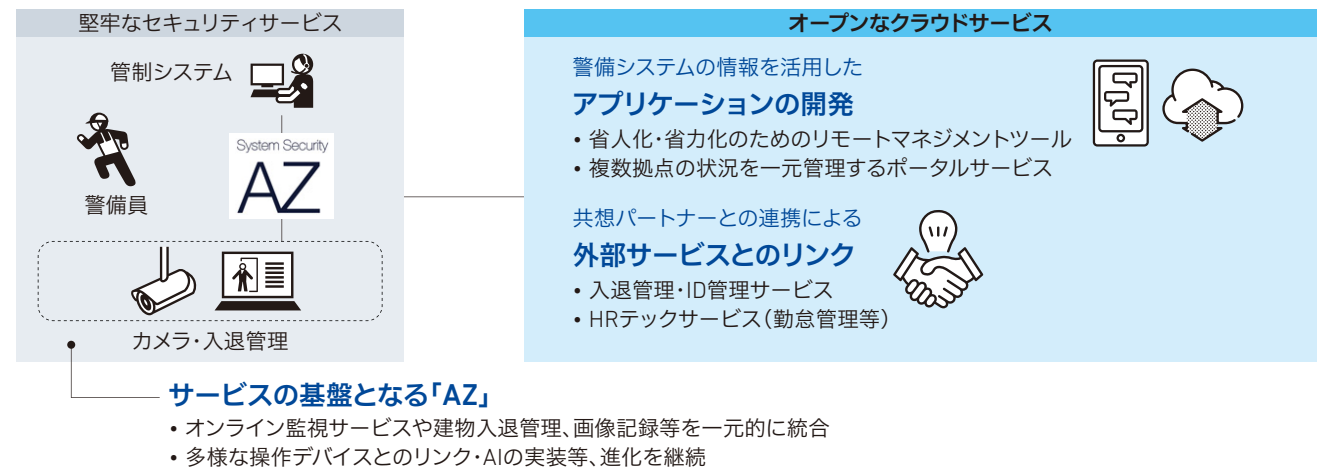


最近の取り組み

- ▶クラウド・アプリ連携による「安否みまもりサービス」(2021/6開始) ▶P35
- ▶「Apple Watch」との連携:「SECOMカンタービレ」アプリの配信(2022/2開始) ▶P35
- ▶ロボットを使ったシニア向けのコミュニケーションサービス「あのね」(2023/4開始) ▶P35
- ▶「Apple Watch」の転倒検出機能と連携、日常の健康管理もサポートする「YORISOS」アプリを配信(2023/4開始) ▶P35

堅牢なセキュリティとオープンなクラウドの融合

事業所向けでは、システムセキュリティ「AZ」を軸にオープンなクラウドサービスとの融合により、お客様の事業運営を支えるビジネスインフラへとサービスを進化させていきます。

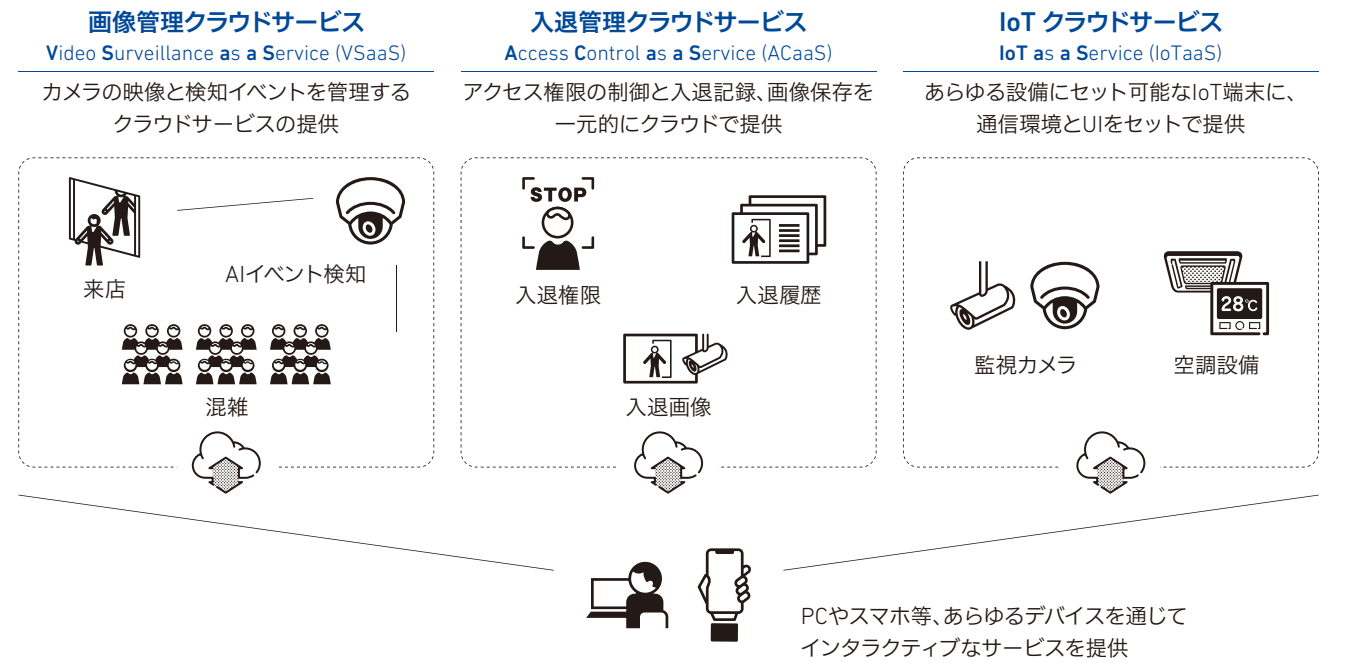


最近の取り組み

- ▶中小規模の店舗・オフィス向けシステムセキュリティ「AZ-Air」(2022/7開始) ▶P34
- ▶大規模施設にも対応した入退室管理システム「AZ-Access」(2023/5開始) ▶P34
- ▶カメラ映像を業務効率化に活用した店舗管理向けウェブサービス「dot-ij」(2023/7開始) ▶P34

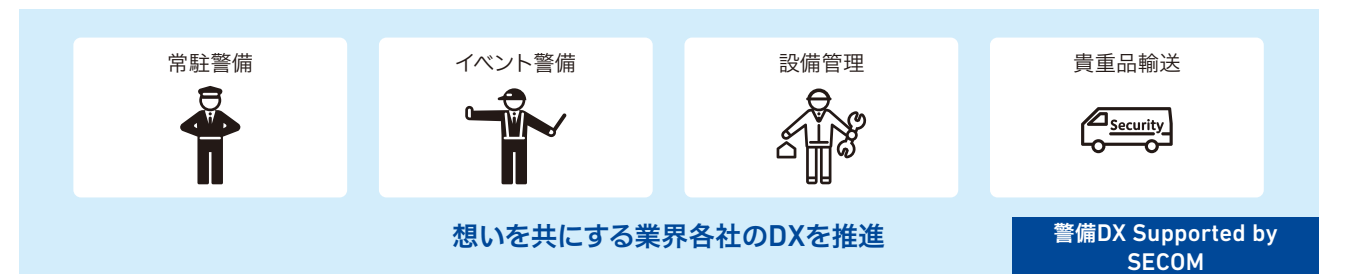
安全商品のSaaS化

オンライン・セキュリティシステムを補完する安全商品を、セコムのノウハウを生かした安全・高度・シンプルな「クラウド時代のサービス」へと進化させていきます。



警備業界のDXを推進

セコムのシステムやノウハウを、想いを共にする業界各社へ提供することで警備DXを推進、ひいては地域や社会全体の「安全・安心」の品質向上を牽引していきます。



最近の取り組み

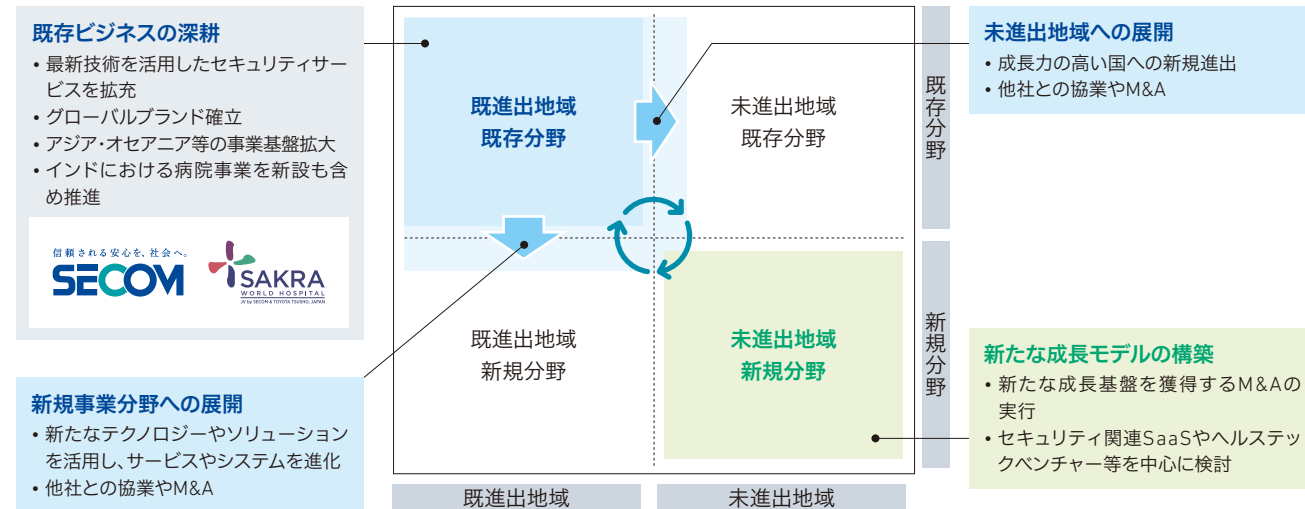
- ▶セキュリティロボット「cocobo」や「バーチャル警備システム」(2022/1開始)
- ▶セノンのグループ入り(2022/7)

最新技術を活用したセコムのセキュリティシステム



2 海外事業の強化

市場拡大が見込まれる海外市場でのさらなる成長に向け、セキュリティとメディカルの分野における既存ビジネスの深耕とともに、未進出地域・新規分野における新たな事業ポートフォリオの拡大を推進します。セコムブランドを世界に浸透させオーガニック成長を加速するとともに、M&Aを積極的に活用し、海外売上高比率10%をめざしていきます。



3 BPO・ICT事業の強化

サービス提供基盤としてのデータセンターやネットワークの拡充に加え、円滑な事業運営を支える新たなSaaSソリューションや業務効率向上に寄与するBPOサービスを拡充・開発します。セコムの情報セキュリティ技術や24時間365日のオペレーション体制を中核に、お客様の事業運営をデジタル面で支えるインフラ基盤を提供していきます。

